

東日本大震災被災地の母子を支援する「東北こそだてプロジェクト」の開始について

(主催：一般社団法人ジェスペール)

一般社団法人ジェスペールは、2012年7月1日(日)より、東日本大震災(以下名称「震災」)で被災した岩手県・宮城県・福島県・及び避難先である新潟県等在住の妊産婦による子育てを支援する「東北こそだてプロジェクト(以下名称「当プロジェクト」)」を開始します。これだけ広範囲にわたって被災地の母子支援を行う活動は他には存在しません。

また、当プロジェクトの実施にあたり、合同会社西友様(以下名称「西友」)より、助成金とレジスターでの募金の2つの支援を賜ることとなりましたので、併せてご報告します。

■「東北こそだてプロジェクト」について

当プロジェクトは、震災で被災した母親が、大切にされている実感を持ち前向きに子育てできる状態の実現を目指します。

震災の被災地では被災後、母親の産後うつ率が増加しています。また、約3割の母親に心的外傷後ストレス障害(P T S D)の疑いが見られ、不安や鬱症状が見られる割合も約7割にのぼります。これらの原因のひとつに災害時には後回しにされがちな、妊産婦への支援の不足が考えられます。

当プロジェクトは事業目標を、「被災した母親が前向きに子育てできるようになるまでの総合的・継続的な支援」、「母子支援の必要性」の情報発信、「被災母子を取り巻くコミュニティの再生・連携支援」とします。

被災地(岩手県・宮城県・福島県)において、未就学児を持ちサポートが必要であると考えられる妊産婦約11万人を対象とし、これらの妊産婦が安定した環境で安心して出産と子育てを行えるよう現地で支援活動を行います。具体的には、妊婦教育、巡回訪問とその際における育児等の相談対応、メンタルケアを各地域の実情に則した形で行います。

■一般社団法人ジェスペール概要 【URL：<http://tohokumama.org/>】

国内の妊産婦をサポートすることにより、女性が安心して出産及び子育てを行えるよう国民全体で支援する世の中の実現と、いつでもいつまでも子どもの笑い声が全国各地に響き渡る社会形成への貢献を目指します。

震災後1年を機に設立された団体であり、前身は「東京里帰りプロジェクト※」。前身の活動から引き続き、各地で震災支援活動を続ける助産師を結び付けるネットワーク組織として機能し、被災地や避難先各地での被災妊産婦への支援を実施しています。

※東京里帰りプロジェクト[公式 HP] <http://satogaeri.org>：東京都助産師会主催の被災妊産婦支援事業として、震災から1年間支援を実施。

■合同会社西友様の支援について

今回の西友の助成金募集に対し、当プロジェクトのうち、被災沿岸部の産後の母子支援について一般社団法人福島県助産師会と協働で応募し、採択されたことにより前身の活動を継続できることとなりました。

西友は、幅広く日用品及び子ども向け商品を扱い、その商品種類と量の豊富さ、店舗数の規模、消費者目線の価格設定により、子育て中の母親にとってなくてはならない店舗となっています。その西友に今回被災地母子支援に理解をいただき、助成していただけることは被災地の母親たちを勇気づけることでしょう。

また、西友は女性を重要な顧客と位置付けて運営を行い、社員にも女性が多いことなど、女性を支えることにも意欲的な企業です。このたび被災地の母親にも同様に目を向け支援頂けることとなり、大変心強く感じています。

■問い合わせ窓口

一般社団法人ジェスペール 事務局 担当：宗(ソウ) 住所：東京都中野区松が丘 1-10-13

E-mail：info@tohokumama.org 電話：090-4611-0904 (16時～20時の間でお受けします)

